

湘南ブロック協議会 第2回幹事会

湘南地区連絡協議会は、3日(土)日本通運(株)藤沢支店にて『第2回 幹事会』を開催、22人が出席し6項目の経過報告を確認、6項目の協議事項を確認した。今回も、大矢藤沢市議会議員にお越しいただき藤沢市政について話され、認識を共にしました。



冒頭、尾池議長あいさつでは、運輸労連業界の情勢や春闘について述べて後、「国会では、働き方改革関連法案で根拠となるデータがいいかげんなものであったことから、裁量労働制に関しては撤回、しかし、高プロや時間外上限規制についてはあまり触れられていない。そんな中で、運輸労連として請願署名を衆参両議長宛に手交しましたが、まだまだ周知されていないのが現実。」と述べました。

経過報告では、出席者よりレポートをいただいているために、QRコードを使いながら6項目の経過報告を確認し、各地域連合からの報告をそれぞれの幹事からされた。

湘南地域連合については、メーデー実行委員会と第1回幹事会の報告。

西湘地域連合については、フードバンクの設立。年末のカンパ行動集約結果「168,399円を集めた他、各単組での取り組みとして804,294円、昨年繰越金21,040円、預金利息を合わせて、996,336円。今春、2市1町の施設に寄贈する。」と報告された。

協議事項では、政策・制度要求を中心に、スケジュールについて確認した。今回も、県警からの回答を経ている神奈川交運労協を通じた提言要求とすることが確認された。提言がまだされていない方は、お願い早急に提出することが確認された。また、各地域連合を通じた提言について、回答と照らし合わせ、まとめたものを皆さんに示すので、評価(意見)することが確認された。



道路実態調査については、第1回幹事会にて、湘南地域と西湘地域を別々に行うことが確認されている行動日・行動者を選出し確認した。

レクリエーションの実施については、弁慶園にて60人規模、昨年より補助金が三分の一になったことや、昨年、飲み物やBBQの具材が残ってしまったので、1400円コースにて少なめに発注する。イベントは、好評だった餅つきを2回行うなど確認された。

共闘関係については、各地域メーデー関係で、写真と全体レポートの役割分担、各参加単組の単組レポートに挑む。湘南地域連合『連合の日』、藤沢自治体クリーンキャンペーンなど要請確認を行った。



最後に、大矢藤沢市議会議員より藤沢市の市政報告がされた。藤沢市議会では、膨大な資料を作らなくてもいいように、タブレットによる会議が行われる、今は、紙媒体と同時進行であるが、タブレットに一本化される。通信費についても政務活動費の一部を入れることにより、外でも資料が見れて、的確な回答ができる。新市役所の9階、かなり見晴らしが良く市民に開放するスペースも確保。一度来ていただきたい。

今回、文書に出来ない話もうかがい、また、それらを改善していく大矢市議の活動など、勉強になった。